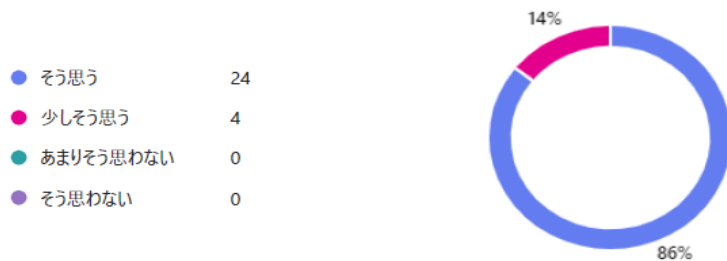


R6 【学校評価】教職員による自己評価

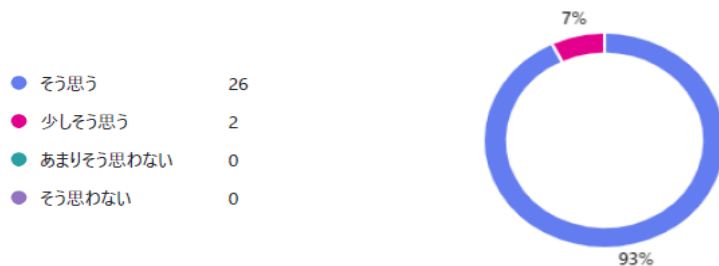
1. 教職員は、教育活動全体を通して「命の大切さ」の指導を徹底するとともに、心の教育の充実に努めている。



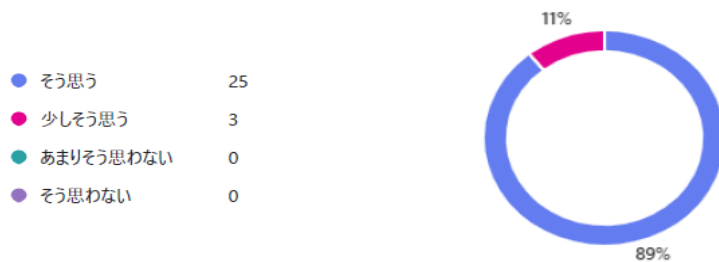
2. 教職員は、互いのよさを認め合い、いじめや差別を許さない学級づくりを推進し、人権が尊重された雰囲気や環境づくりに努めている。



3. 教職員は、異年齢集団活動や共遊など児童同士、教師と児童のふれあいの時間を確保し、お互いを思いやり、互いに励まし合い、助け合う態度の育成に努めている。



4. 教職員は、芸術鑑賞会や校外学習・出前授業等、様々な体験活動を通して豊かな情操の育成に努めている。



R6 【学校評価】教職員による自己評価

5. 教職員は、ICT機器を効果的に活用しながら分かる喜び・できる嬉しさ・学び合う楽しさを実感できる授業を実践している。

● そう思う	16
● 少しそう思う	12
● あまりそう思わない	0
● そう思わない	0



6. 教職員は、IT学習（複数の教員での授業指導）や習熟度別学習等により、個に応じたきめ細やかな指導に努め、基礎的・基本的事項の定着を図っている。

● そう思う	16
● 少しそう思う	12
● あまりそう思わない	0
● そう思わない	0



7. 教職員は、家庭学習の習慣化を図り、自ら学び、粘り強く学習に取り組む態度と向上心の育成に努めている。

● そう思う	14
● 少しそう思う	14
● あまりそう思わない	0
● そう思わない	0



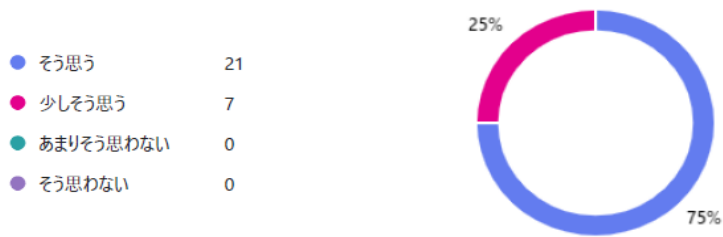
8. 教職員は、外国語活動を通してコミュニケーション能力の素地を養うとともに、他国の文化や伝統を尊重しようとする態度の育成に努めている。

● そう思う	13
● 少しそう思う	15
● あまりそう思わない	0
● そう思わない	0

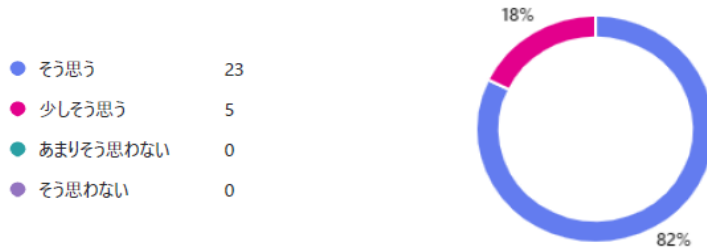


R6 【学校評価】教職員による自己評価

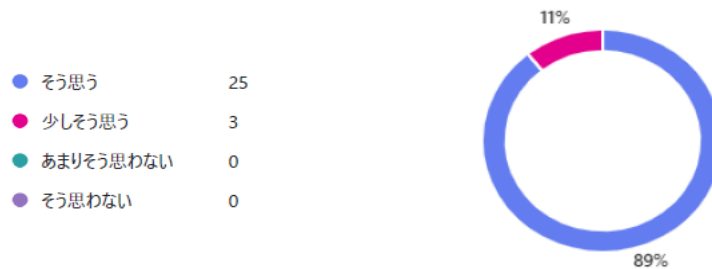
9. 教職員は、朝の読書や読み聞かせを実施し、図書館の環境の整備を進めながら子供たちが本に親しむ機会を確保し、読書習慣が身に付くようにしている。



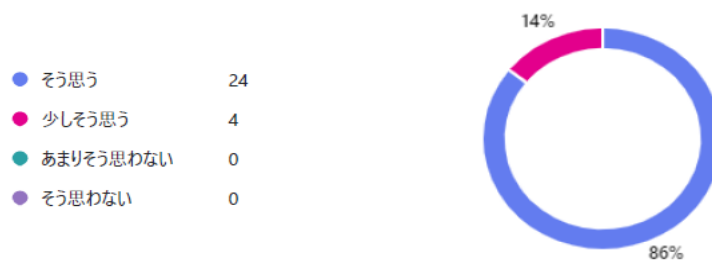
10. 教職員は、活動量のある授業体育を実践するとともに体育的な行事等を通して、運動に親しむ資質・能力の基礎を培っている。



11. 教職員は、一人一人が心身ともに健康に過ごすことができるよう教育相談の体制を充実させるとともに、必要な生活習慣や態度を身に付けるため適切に保健・給食指導を進めている。

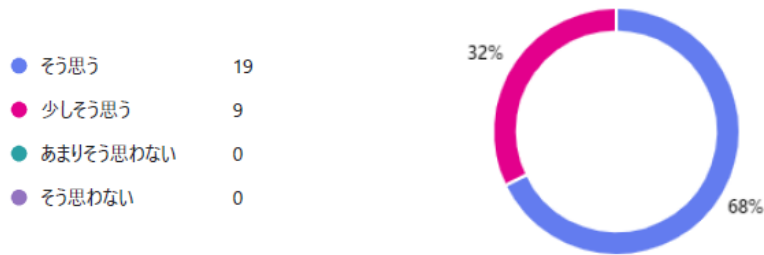


12. 教職員は、施設設備の点検・整備、避難訓練等の実施、安全教育の充実に努め、児童の安全を確保している。

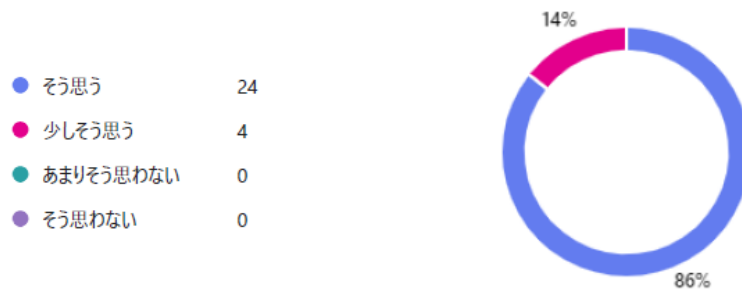


R6 【学校評価】教職員による自己評価

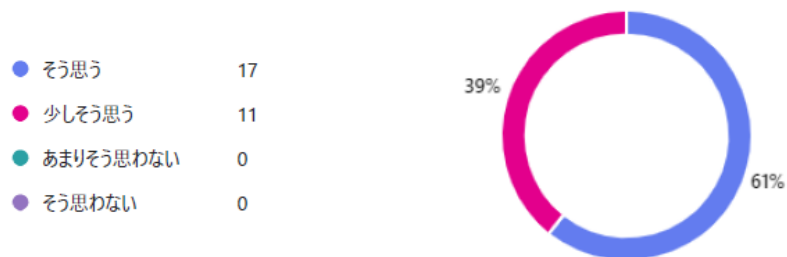
13. 教職員は、責任感をもち最後まであきらめずにやり遂げるたくましい児童の育成に努めている。



14. 教職員は、各種たよりやHP等を活用しながら適切に情報を発信するとともに特色ある教育活動を進めている。

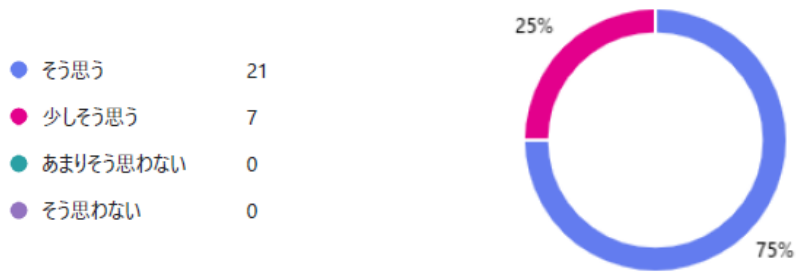


15. 教職員は、「早寝・早起き・朝ごはん」など基本的な生活習慣の確立、食育についての共通理解を図り、指導の充実に努めている。

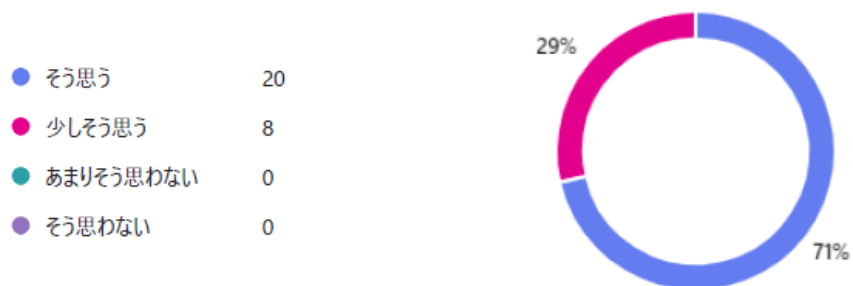


R6 【学校評価】教職員による自己評価

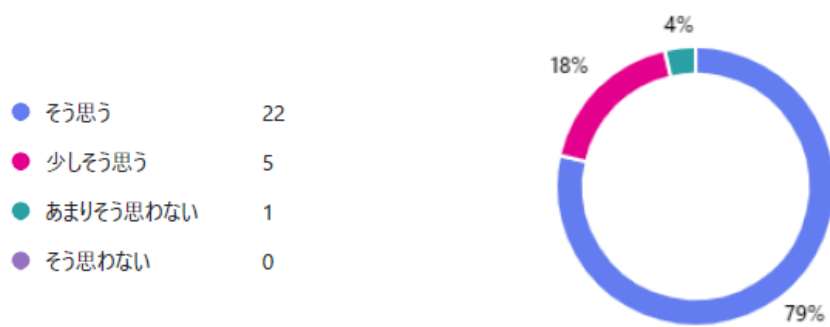
16. 教職員は、学習指導や児童指導において校内組織が円滑に機能し、課題解決に当たっている。



17. 教職員は、ケース会議等により、学年や学級での抱え込みのない指導・相談を行っている。

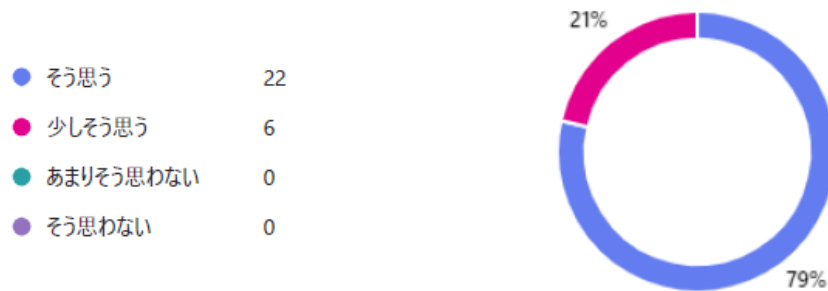


18. 教職員は、日常の教育活動が円滑に行われるよう、協働しながら確実な実施に努めている。

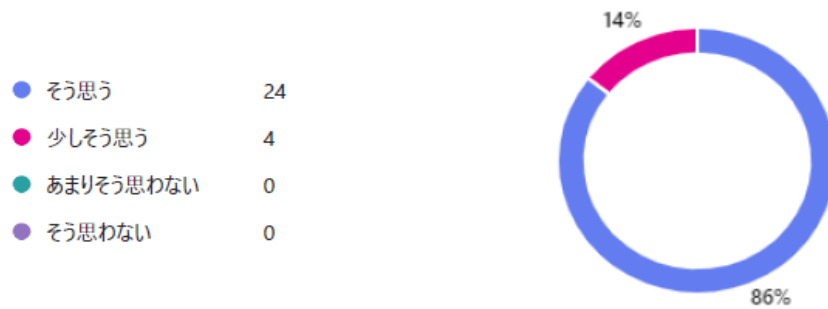


R6 【学校評価】教職員による自己評価

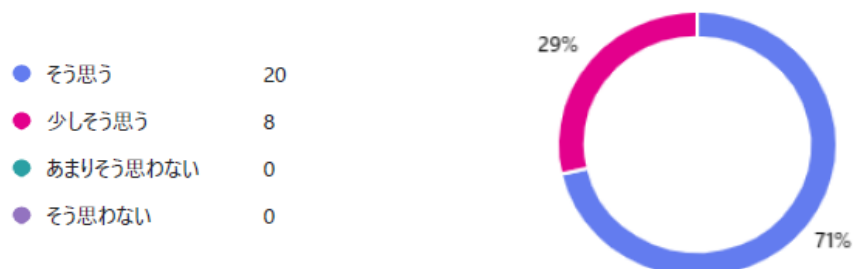
19. 教職員は、校内研修や自主研修等により、授業力や児童指導力の向上を図ろうとしている。



20. 教職員は、保護者、地域、関係機関と積極的に情報を交換し、連携・協力しながら課題解決に努めている。

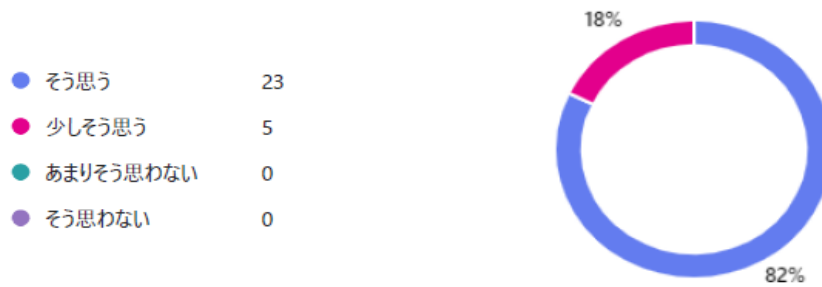


21. 【学校力評価】学習指導や児童指導において、学校全体で共通理解を図りながら組織的に課題解決にあたっている。

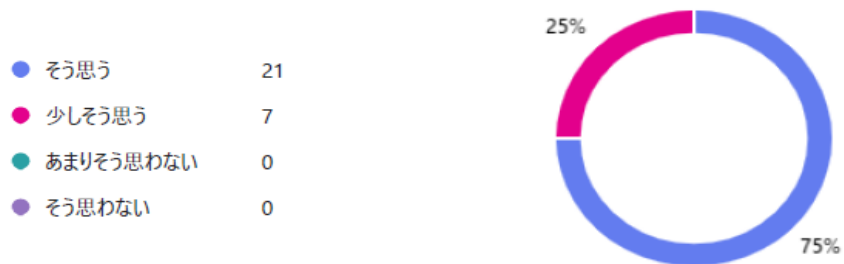


R6 【学校評価】教職員による自己評価

22. 【学校力評価】家庭や地域、関係機関との連携・調整を図り、地域や保護者に信頼される学校運営を推進している。



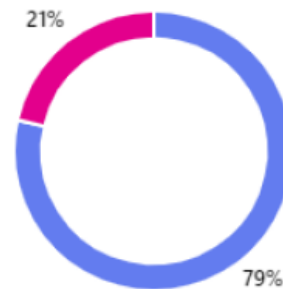
23. 【学校力評価】学校全体で学業指導の充実による居がいのある学級経営が行われるようにするとともに、いじめ・不登校の未然防止と改善を図っている。



R6 【学校評価】教職員による自己評価

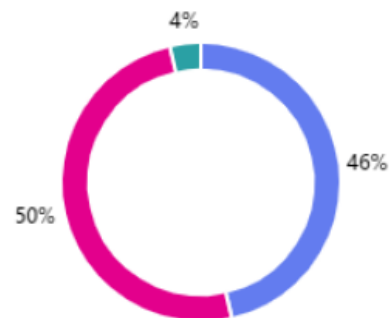
24. 【学校力評価】避難訓練や引き渡し訓練、アクションカードを用いた訓練を実施し、危機管理マニュアルの理解を深め、児童の安全確保を常に意識して各教育活動を進めている。

● そう思う	22
● 少しそう思う	6
● あまりそう思わない	0
● そう思わない	0



25. 【学校力評価】学校課題等の現職教育研修、空き時間を活用した「ながら参観、ぶらり参観・メンター研修」といった校内OJLにより、授業力や児童指導力が向上している。

● そう思う	13
● 少しそう思う	14
● あまりそう思わない	1
● そう思わない	0



回答

児童一人一人、職員一人一人が自分たちの学校は「自分たちの手で変えられる『よくできる』」といった当事者意識を持った学校は素敵だと思います。

今年度は特別支援学級と交流教室との溝が深まってしまった児童が僅かですが見られたように感じました。インクルーシブ教育をより充実させ、学力や態度などが揃わなくともどんな子でも安心して集団の中で過ごせるとよいと思います。同時に、教職員同士、もう少し情報交換した方がいいのではと心配になる場面も見られました。自分も気にかけてコミュニケーションをとるようにしたいです。教育活動の充実と働き方改革が反比例するような箇所もあるかと思い、新たな取り組みを提案する際には、削れるところは削るよう、自分の企てでも気を付けたいと反省しました。教育相談に求められる役割が大きくなっていると思うので、より相談しやすい体制作りを考えていきたいです。

いろいろご迷惑をおかけしながらも、相談に乗っていただきありがとうございます。